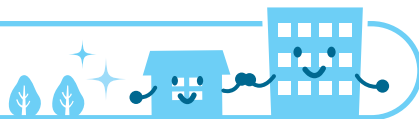


羽沢地区

【地域包括支援センター若竹苑エリア】

地域の特性



(1) データで見る地域の概要

0～6歳人口比率が8エリア中最も高く、75歳以上人口比率は最も低くなっています。また、単身世帯の割合が区内で2番目に低く（エリア内35.5%、区全体43.3%）、核家族の割合は区内で2番目に高くなっています（エリア内56.8%、区全体50.1%）。

緑地や農地が多く、緑豊かな環境がひろがっています。一方で、平成21年度の区民意識調査では、最近心配なこと、困っていることとして、道路整備や公共交通の利便性についてあげる人の割合が多くなっています（エリア内13.9%、区全体3.8%）。現在、神奈川東部方面線「羽沢駅」の整備が進められており、周辺地域の交通及び生活の利便性の向上が期待されています。

エリア内には公園が8か所、保育園・幼稚園・小学校が1か所ずつあります。

基礎数値（人口、世帯、高齢化率等）

（平成21年3月末現在）

地区名	人口（人）	世帯数	0～6歳 人口比率（%）	65歳以上 人口比率（%）	75歳以上 人口比率（%）	単身世帯比率（%）	
						65歳以上	75歳以上
羽沢	14,946	6,674	6.8	18.5	7.3	9.4	5.4
神奈川区全体	227,164	113,856	5.8	18.8	8.7	10.7	6.2

(2) 行われている主な活動

- ◆ 羽沢地区は面積が広く（約3km²）、福祉まつりを南北で開催するなどの工夫をしています。
- ◆ 羽沢スポーツ会館を活用するなど、スポーツを通じた健康づくりが行われています。
- ◆ 「羽沢駅」整備に向けたまちづくりの検討が進められています。
- ◆ 保育園・幼稚園では園庭開放などを通して地域住民の交流を図っています。
- ◆ 小学校では毎日高齢者と給食会を実施し、交流を深めています。
- ◆ 住民同士の交流を目的とした、おまつりやイベントを町内各地で開催しています。
- ◆ 公園の清掃活動などに積極的に取り組み、地域の美化をすすめています。

(3) 地域の課題

【1】健康やスポーツをテーマとした世代間交流

乳幼児割合が高く、様々な世代が交流することが課題となっています。今後はより多くの方が、スポーツ・健康づくりをきっかけに様々な活動へ参加し、世代間交流が充実することが求められています。

【2】ゴミ出しやペット飼育に関するルールの遵守

清掃活動等の取組が各地域で行われています。また、適切なペット飼育ができるしくみとして、自主運営組織をつくって活動しています。しかし、一方ではルールが守られていない場所もあり、今後の課題となっています。

地区の「重点課題」と「取組」

羽 沢 地 区

重点課題①：さまざまな年齢層の交流で 魅力ある地域づくり (スポーツ・健康づくりを通じた世代間交流)

すぐに
取り組む
こと

〔保健活動推進員〕

- 毎月1回のウォーキング(健康づくりの活動)を継続します。年に1回の健康づくりに関する研修会を検討します。
- 活動を知ってもらえるよう掲示板の利用や回覧を続けるなどの工夫をします。

〔自治会町内会〕

- 羽沢町内各所での夏まつり、南部、北部の福祉まつりの開催を継続し、交流を図ります。
- 餅つきのつき手やプールの見守りなど、できることから始められる活動の機会をつくります。
- 全戸配布「支えあい新聞」を引き続き活用して、交流のきっかけとなる地域イベントを周知します。
- スポーツを活用して、様々な年齢層の方が気軽に交流する機会を増やします。
 - 身近な地域で、グランドゴルフや体操などの取組を継続します。
 - 各自治会と協力し「はざわスポーツクラブ」のPRを行い、活動の充実を図ります。
- 焼き芋や昔の遊び(わらじづくり、あやとり)を通して、子どもたちと交流します。
- 小中学生による通学路や公園の清掃活動を充実させます。
- 地域の見守り隊の活動や毎日の給食会で小学生との交流を継続します。
- 「すくすくかめっ子」で活躍した方が町内会や地域とつながるしくみをつくります。
- 年末夜回りに住民有志(特に若い世代)の参加を呼びかけます。
- 自治会・町内会・敬老会についてPRし、転入者の加入を呼びかけます。
- 車イスやベビーカーなどでもイベント等への参加ができるように、バリアフリーマップの作成などを検討します。

時間を
かけて
取り組む
こと

〔自治会町内会〕

- 自治会役員、班長、各部の代表による毎月定例会を利用し、若い人(次の世代)への継承を検討します。
- 仕事を持っている人でも参加できる研修や活動の機会を増やします。

重点課題②：ゴミ出しのルールやペット飼育のルールの遵守

すぐに
取り組む
こと

〔個人の取組〕

- ゴミの分別や収集日等のルールを守り、ごみの集積場を利用する各自が見守ります。

〔自治会町内会〕

- 品目別収集日のわかりやすいチラシをつくり、繰り返し各家庭に配布します。また、転入者への効果的な周知方法について検討します。チラシを掲示するなど工夫をします。
- アパートなどの場合は、建物所有者や管理会社へ入居者に対してゴミ出しのルールを伝えてもらうなどの協力をお願いしていきます。
- まちをきれいに保つことについて一人ひとりに関心を持ってもらうために、見守り当番や清掃当番を決めて、ゴミ出しルールを守るよう働きかけていきます。
- ゴミの分別ができていないところへ見回りや監視カメラの設置を検討します。
- 犬の散歩をする人にマナー、ルールを伝える機会を持ちます。またペットの適正な飼い方を飼い主相互で見守るなどの取組を住民へ呼びかけます。

重点課題に対する区役所の取組

重点課題：「さまざまな年齢層の交流で魅力ある地域づくり (スポーツ・健康づくりを通じた世代間交流)」

【健康づくり事業】

生活習慣病の予防や健康増進のために、知識や技術の普及啓発を行います。また、保健活動推進員や食生活等改善推進員(ヘルスマイト)をはじめとする支援者の育成を行います。

【こんにちは赤ちゃん訪問事業・すくすくかめっ子事業】

地域の子育て支援の機会を通じ、様々な年代が交流する機会をつくれます。

【青少年指導員・体育指導委員・子ども会】

地域で活動する青少年育成関連団体が主催する各種事業に対し、支援を行います。



重点課題：「ゴミ出しのルールやペット飼育のルールの遵守」

【チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり】

ゴミの分別・減量化を図るG30活動を推進します。

その一環として、小中学生等と一緒に地域の環境美化に関する取組を行います。

また、「わが町かながわマナー違反一掃作戦」を行い、地域のマナー向上を目指します。

【動物適正飼育推進事業】

「地域猫」の支援について取り組んでいきます。

犬のフンに関してプレート看板の配布を行い、マナーの向上を図ります。

また、地域の取組に合わせて講習会等を実施します。



地域を支援するための若竹苑の取組

- 地域支えあいの取組を支援します。
- 地域のイベントや教室などで、福祉制度や健康に関する情報の提供を行います。

